



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 株式会社 永谷園

上場取引所 東

コード番号 2899 URL <http://www.nagatanien.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 町田 東

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 松村 雅彦

TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	51,192	△0.7	4,573	32.4	4,654	34.9	2,556	30.0
23年3月期第3四半期	51,557	1.4	3,455	35.8	3,451	28.1	1,966	24.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,637百万円 (69.8%) 23年3月期第3四半期 1,553百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	67.10	—
23年3月期第3四半期	52.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	54,936	24,934	45.3
23年3月期	55,023	22,933	41.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 24,876百万円 23年3月期 22,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.75	—	7.75	15.50
24年3月期	—	7.75	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.75	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	0.1	3,500	10.7	3,500	14.7	1,850	76.4	48.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、（添付資料）2ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	38,277,406 株	23年3月期	38,277,406 株
24年3月期3Q	213,022 株	23年3月期	160,799 株
24年3月期3Q	38,099,929 株	23年3月期3Q	37,814,364 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による一時的な落ち込みから回復傾向を示していたものの、欧州における財政不安及び米国の景気低迷に伴う円高の長期化やタイの洪水被害により、先行き不透明な状況が続きました。当社グループを取り巻く市場環境も低迷する雇用・所得環境や、消費税増税に対する不安感から消費者の購買マインドが冷え込む等、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループにおきましては、「基幹商品カテゴリーの売上獲得」と「商品の安定供給」を課題とし、グループ全体の総力を上げて取り組んでまいりました。

販売面につきましては、第3四半期では、お茶づけカテゴリーにおいて、購買層をターゲットとした「親子茶碗プレゼントキャンペーン」を実施するとともに、話題のタレントを起用したCMを投入し、拡販活動を積極的に展開してまいりました。また中華惣菜カテゴリーにおいて、主力商品である「麻婆春雨」が平成23年11月で発売30周年を迎えたことから、同商品のブランド認知を更に高めるため、記念パッケージ商品の投入やホームページ上での特設サイトの開設等に取り組んでまいりました。

生産面につきましては、グループ会社に新たな製造ラインを導入し、生産効率の向上と内製化による品質の安定を図るとともに、冬期の節電対策として、夏期に引き続き工場における稼働時間の平準化の徹底や自家発電機を活用したことで、安定して商品を生産できる体制を構築してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は511億92百万円（前年同期比0.7%減）となりました。一方、利益面につきましては、主要因として、製造原価の低減と販売促進費の減少により営業利益45億73百万円（同32.4%増）、経常利益46億54百万円（同34.9%増）、四半期純利益25億56百万円（同30.0%増）となりました。

なお、当社グループは食料品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より87百万円減少し、549億36百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したものの、現金及び預金、投資有価証券及び投資その他の資産のその他が減少したことによるものです。また負債は、前連結会計年度末より20億88百万円減少し、300億2百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したものの、短期借入金が減少したことによるものです。また、純資産は主に、利益剰余金の増加により249億34百万円となりました。この結果、純資産から少数株主持分を控除した自己資本は248億76百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.7ポイント上昇の45.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも概ね順調に推移していることから、平成23年11月4日発表の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,185	7,221
受取手形及び売掛金	11,163	11,805
商品及び製品	1,919	2,606
仕掛品	463	437
原材料及び貯蔵品	3,331	3,457
その他	965	1,107
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	26,019	26,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,221	14,516
減価償却累計額	△8,790	△9,102
建物及び構築物（純額）	5,430	5,414
機械装置及び運搬具	11,784	12,060
減価償却累計額	△8,952	△9,334
機械装置及び運搬具（純額）	2,832	2,726
土地	11,127	11,127
リース資産	1,375	1,645
減価償却累計額	△478	△672
リース資産（純額）	896	973
建設仮勘定	26	8
その他	1,794	1,824
減価償却累計額	△1,477	△1,518
その他（純額）	317	305
有形固定資産合計	20,631	20,554
無形固定資産		
のれん	77	53
その他	148	122
無形固定資産合計	225	176
投資その他の資産		
投資有価証券	5,843	5,623
その他	2,405	2,047
貸倒引当金	△101	△95
投資その他の資産合計	8,147	7,574
固定資産合計	29,004	28,306
資産合計	55,023	54,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,549	7,273
短期借入金	5,208	1,940
未払法人税等	574	1,171
賞与引当金	485	189
災害損失引当金	338	14
その他	5,687	6,553
流動負債合計	18,845	17,143
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	3,217	2,812
退職給付引当金	413	508
役員退職慰労引当金	50	—
資産除去債務	50	51
その他	2,513	2,486
固定負債合計	13,245	12,858
負債合計	32,090	30,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,509	6,509
利益剰余金	16,918	18,884
自己株式	△132	△177
株主資本合計	26,798	28,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△542	△539
土地再評価差額金	△3,373	△3,303
その他の包括利益累計額合計	△3,916	△3,842
少数株主持分	50	57
純資産合計	22,933	24,934
負債純資産合計	55,023	54,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	51,557	51,192
売上原価	28,371	27,526
売上総利益	23,186	23,666
販売費及び一般管理費		
販売促進費	8,752	8,477
賞与引当金繰入額	100	99
その他	10,878	10,515
販売費及び一般管理費合計	19,730	19,092
営業利益	3,455	4,573
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	109	114
不動産賃貸料	66	85
その他	106	122
営業外収益合計	285	325
営業外費用		
支払利息	136	109
その他	152	135
営業外費用合計	289	244
経常利益	3,451	4,654
特別利益		
受取保険金	—	94
災害損失引当金戻入額	—	54
特別利益合計	—	148
特別損失		
減損損失	15	—
災害による損失	—	30
固定資産除却損	7	—
投資有価証券評価損	8	408
会員権評価損	—	31
特別退職金	3	—
店舗閉鎖損失	4	—
リース解約損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	69	—
解約違約金	43	—
社葬費用	—	31
特別損失合計	152	501
税金等調整前四半期純利益	3,298	4,301
法人税等	1,320	1,736
少数株主損益調整前四半期純利益	1,978	2,564
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11	7
四半期純利益	1,966	2,556

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,978	2,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△424	2
土地再評価差額金	—	70
その他の包括利益合計	△424	72
四半期包括利益	1,553	2,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,541	2,630
少数株主に係る四半期包括利益	12	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,298	4,301
減価償却費	1,228	1,172
減損損失	15	—
のれん償却額	23	23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	△11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△272	△296
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	149	95
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	△50
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△324
受取利息及び受取配当金	△113	△117
支払利息	136	109
受取保険金	—	△94
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	8	408
会員権評価損	—	31
その他の営業外損益 (△は益)	△10	2
その他の償却額	13	12
有形固定資産除売却損益 (△は益)	34	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	69	—
社債発行費	37	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,094	△636
たな卸資産の増減額 (△は増加)	225	△786
仕入債務の増減額 (△は減少)	△235	723
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	611	583
未払消費税等の増減額 (△は減少)	84	51
その他の資産・負債の増減額	69	△77
小計	2,227	5,151
利息及び配当金の受取額	113	117
利息の支払額	△85	△105
保険金の受取額	—	273
法人税等の支払額	△1,085	△1,075
法人税等の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,170	4,361

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△18
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,105	△708
有形固定資産の売却による収入	1	9
有価証券の償還による収入	5	—
関係会社貸付けによる支出	—	△92
投資有価証券の取得による支出	△9	△7
投資有価証券の売却による収入	14	1
関係会社出資金の払込による支出	△65	—
子会社株式の取得による支出	△3	△92
差入保証金の差入による支出	△10	△2
差入保証金の回収による収入	329	30
その他	△17	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,880	△890
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△3,850	△3,200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△199	△245
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△408	△472
社債の発行による収入	6,962	—
自己株式の純増減額（△は増加）	435	△45
配当金の支払額	△538	△519
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,401	△4,482
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,691	△1,011
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	8,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,954	7,171

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。